

GAPとは… Good Agricultural Practice の略。直訳すると“良い農業のやり方”。農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・福祉などの持続可能性を確保するための農業生産工程管理の取組のこと。

家畜・畜産物GAP（日本JGAP協会）では、家畜衛生、アニマルウェルフェア（AW）を加えた取組により、持続可能な農業経営の確立と消費者の信頼確保を目指している。

今回は、GAPの取組みのひとつ“家畜衛生”についての情報です。

家畜・畜産物GAP

農場運営

食品安全

環境保全

労働安全

人権・福祉

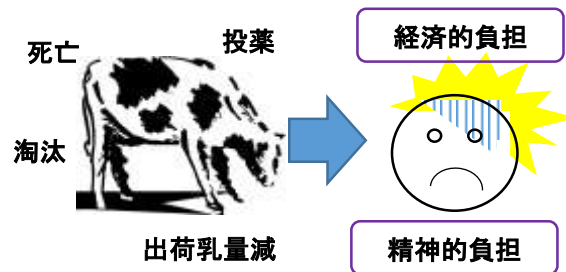
家畜衛生

アニマルウェルフェア

家畜衛生

家畜伝染病（口蹄疫、ヨーネ病、サルモネラ症など）が発生した場合、経済的にも精神的にもダメージが大きくなります。

また、農場内の発生にとどまらず、近隣農場、地域全体へまん延した場合には、地域の畜産業、経済に影響が及び、持続可能な農業経営に影響を落としかねません。

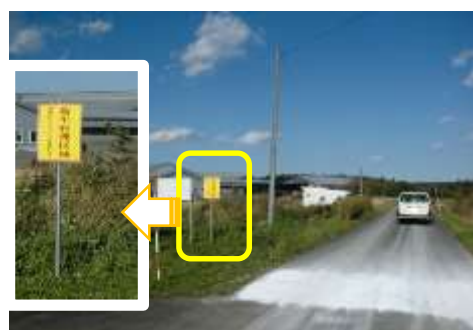


飼養衛生管理基準の遵守

「家畜衛生」は「飼養衛生管理基準（R2.6.30改正）」をもとに、病原菌を農場へ「持ち込まない」「拡げない」「持ち出さない」ための取組です。

また、改正後の飼養衛生管理基準では「飼養衛生管理者の選任」や「飼養衛生管理マニュアルの作成」などが求められています。

※農林水産省のHPにて、飼養衛生管理基準の詳細やマニュアル例が掲載されています。



衛生管理区域と石灰帯の設置



靴の洗浄、消毒



飼養管理区域内の整理整頓



哺育施設の石灰塗布



防鳥ネット（鳥獣侵入防止）



手指の洗浄、消毒

GAPを家畜防疫対策に活かすために…

令和3年の夏は‘酷暑’でした。家畜伝染病のひとつであるサルモネラ症は、暑熱ストレスや暑熱の疲れが残っている秋に発生が増えます。

サルモネラ症予防対策を例に、GAPの考え方に基づく家畜伝染病の蔓延防止対策についてご紹介します。

【サルモネラの主な症状】

40℃前後の発熱と水様性の下痢便または粘血便がみられます。

食欲が低下することから、搾乳牛では、乳量が激減します。

GAPの観点では…

- ・サルモネラ症（伝染病）の**症状を農場内に周知（教育）**する。
 - ・疑われる症状を発見した時の**対応方法をルール化**する。
- ※これにより早期発見が可能となり、伝染病まん延防止につながります。

【発症予防対策】

基本的な対策は以下のとおりです。対策を行うにあたり、**責任者の設置、対策実施のルール化と周知、対策実施の記録管理**など**GAPの観点**を加えることで漏れがなくなり、サルモネラ症のリスク軽減につながります。

予防対策 I .菌を農場内に持ち込まない



哺育施設の防鳥ネットと石灰帯

保菌している野生鳥獣（ハトやネズミ、キツネ等）が農場内に菌を持ち込む可能性があります。

〈対策〉

- ・靴やタイヤの消毒
- ・野生動物の侵入防止対策
- ・外来者、外来者の入場制限 等



哺育施設用の長靴

予防対策 II .感染機会を減らす管理



ぬめりのあるウォーターカップと不衛生な飼槽



感染した牛から排菌した菌を直接または飼槽や水槽を介して口に入ることにより同居牛が感染します。

〈対策〉

- ・給水器の洗浄
- ・飼槽の清掃の励行 等

予防対策 III .ルーメン機能を正常に維持する飼養管理

採食が制限され、ルーメン機能が低下した状態では、菌が増殖しやすくなります。

- 〈対策〉
- ・採食を制限しない管理
 - ・アシドーシスを防止する管理 等



飼槽を空にしない管理を

エサがない

ようこそ！宗谷農業改良普及センター



宗谷農業改良普及センター

身近なGAP情報 お問い合わせ先

宗谷農業改良普及センター 本所（中頓別町） 電話：01634(6)1414

北部支所（豊富町） 電話：0162(82)2119